

# 令和8年度当初予算審査抽出事業 調査報告書

(総務生活分科会 No.1)

(所属課, 事業コード) 事業名	(交通防災課 2185) 消防関係事務経費 ※P. 45	
予 算	令和6年度決算額	49,149千円
	令和7年度決算見込額	50,005千円
	令和8年度当初予算額 (案)	49,465千円
<p><b>【事業抽出理由】</b>                  (事業を選定した理由)                  消防団員数の減少が進み、地域によっては団員がいない、または少人数で活動している分団も見られることから、今後の消防団の維持や地域防災体制の確保が大きな課題となっている。あわせて、報酬水準の低さや訓練・大会の負担、団員確保の難しさ、分団の在り方など、多くの課題が重なっており、消防団を今後どう支えていくのかを検証する必要があるため、本事業を選定した。</p> <p><b>【事業の妥当性】</b>                  (事業の必要性, 費用対効果, 財源の安定性等)                  消防団は、火災対応に加え、平時の地域防災活動や住民への避難誘導など、地域防災力の要を担っており、事業の必要性は極めて高い。ボランティアベースに近い組織運用は、限られた財源で地域防護力を維持する上で高い費用対効果を有している。団員減少や報酬の不公平感等の課題については、実態に即した訓練内容への見直しや処遇の適正化、分団間の連携強化といった「運用改善」を並行して実施することで、事業の質的向上を図る。以上の通り、社会情勢に合わせた制度の最適化を前提として、本事業の実施は妥当である。</p> <p><b>【調査結果】</b>                  (総括)                  分団の維持に最大限努力するとともに、必要に応じて分団統合や広域的な協力体制についても、地域の実情を踏まえ丁寧に協議を進めることを期待する。                  さらに、消防団の活動内容や必要性を市民にもっと分かりやすく発信し、火災対応以外の巡回・警戒・災害対応などの実績も積極的にPRするとともに、報酬や予算の在り方については、活動実態に応じた公平性と透明性を確保することが重要である。</p>		